

未来創造志塾 5期第2回(4月24日)

韓非子 「人を動かす帝王学を学ぶ！」

未来創造志塾 建塾の志

目的

二十一世紀、新しい時代の大転換期を生き抜くための理念や経営の哲学を共に学び合う
経世済民の高い志を持ち、日本人としての使命を探究し、切磋琢磨し合い、未来に向けての価値を
創造し、共感の和を広げる。

誓い

一、大局観察

何事も高所、大局から、情勢判断する習慣を心掛けます。

一、使命探究

人間の持つ無限の可能性を信じ、自らの使命を探求し、価値の創造に努めます。

一、自己挑戦

常に智恵と向上心と勇気を忘れず、共に励ましあい、立派な日本人となることを目指します。

5期テーマ 東洋思想・哲学を学び、トップ 幹部に必須な人間学を身に付ける！

賢者は歴史に学び、愚者は体験に学ぶ、先賢に学んで自分を練る」

講義主題 一、東洋思想を学び、価値観を高め、人間力の向上を目指す。

二、経営の原理原則を学び、戦略の仕掛けと仕組みを学ぶ。

三、お互いに価値観を語り合うことにより 志 使命を学び合う場とする。

第5期は、トップリーダー論(帝王学)を東洋思想哲学から徹底的に学びます。

第5期予定	日程	テーマ
第1回	3月20日(月)	「荀子」人生で学ぶべきこと、リーダーシップとは？
第2回	4月24日(月)	「韓非子」 人を動かす帝王学を学ぶ！
第3回	5月22日(月)	「韓非子」 トップの為の組織論を学ぶ！
第4回	6月19日(月)	「忠臣蔵と山鹿兵法」 武士道の志
第5回	7月24日(月)	「言志四録」 佐藤一斉 人間を育成する決定的条件を学ぶ
第6回	8月28日(月)	「貞観政要」 帝王学を学ぶ
第7回	9月25日(月)	「貞観政要」 人間学・組織論を学ぶ
第8回	10月23日(月)	「商経」 胡雪岩の商人の教え
第9回	11月20日(月)	「商経」 用心観、機運観、時勢観、処世観を学ぶ！
第10回	12月18日(月)	「安岡正篤」 人間学を学ぶ！
第11回	1月15日(月)	「呉子」 実践兵法書 将の器を学ぶ！
最終回	2月19日(月)	「曹操孫子注釈」 戦略・戦術策定の仕組みを学ぶ！

場所 : 地下鉄東陽町駅前、産業会館(会議室)

会費 : 3000円(会員2000円) 宿泊研修は別途実費(1万円予定)

5期第2回テーマ 韓非子 「人を動かす帝王学を学ぶ！」

参考テキスト:人を動かす 韓非子」の帝王学 中島孝志 太陽企画出版 (1500円)

儒家

孔子 (前551~前479)

子曰く 性は相い近し 習い、相い遠し。」

子曰く 唯だ上知と下愚とは、移らず。」

孟子 (前372~前289)性善説・・・忍びざるの心 (怨)

荀子 (前298~前235)性悪説・・・人の生まれつきの性は、悪である。

善というのは、後天的、人為的なものである。

人間の本性は、生まれつき利を好むもの。

韓非子 (前283~前233)性悪説・・・人は利で動く(刑と徳)

社会の安定秩序??? 善なる人格の形成??? 教化??? 性善 or 性悪

??? 秩序腐乱の防止 ??? 刑罰 (韓非子)

韓非子」は、どんな思想家の影響を受けたのか?

儒家

墨家

道家

法家

BC 500年

孔子

孟子 (性善説)

荀子 (性悪説)

墨子

老子

莊子

申不害 (術)

商鞅 (法) 慎到 (勢)

韓非子

BC 221年 秦の始皇帝の中国統一

韓非子の思想の出発点は人の性は何かということから始まる。

失れ智は性なり 寿は命なり 性と命は、人より学ぶところに非ざるなり 顯学

人は利で動く

人は己の利益を求めて行動する。己にとってプラスになるもの、無意識のうちに計算し、行動する。

利を求める人間の本性をあるがままの現実 (善? 悪? 言っていない)

打算にもとづく親子関係・君臣関係・男女の関係

「人主の患は、人を信ずるにあり。人を信ずれば則ち人に制せられる」備内・・・人間不信

人が好意や思いやりをもってこちらのために何かをしてくれることを期待するのは、危険だ。

確実なことはこちらのためにせざるをえないようにもっていくことだ。

だから聡明な君主は、何が得で何が損なのかをはっきり天下に示すのだ。

刑と徳 (法治主義)

仁義 (主観)ではなく、法・刑罰といった客観的基準、普遍性を信に置くべきとした。

法と刑罰、恩賞・・・賞と罰がきちんと対応すれば、何の心配もない」用人

明主の法は、はかりなり六反

名君は法によって官僚を登用し、自分の恣意で登用することはしない。法によって功をはかり、自らの恣意ではかることはしない」有度

法令を立てる理由は「私」を廃するためである。「私」なるものは、法を乱すものである。詭使

賢者や智者の出現をあてにするには間違い。

名君は偶然にたよらない。必然のやり方を採用する。・・・韓非子は平均人をもとにしてすべてを考える

刑罰の目的

応報

予防 抑止・・・韓非子の目的 刑を以って刑を去る」? ? 重刑主義

教育 更正

世の中の難しきことは、必ずや簡単なものから起こる。天下の大事は、必ず些事から起こる。

大は必ず小よ起こる」天下の大事は、些事から起る」喻老篇・・・それを賢明、聡明という

法の運用は、度量衡、機械的、客観的、君主の人為を越えてシステム的に無為に自然に限りなく近く。

最上の君主は、その存在を下々が知っているだけのもの」最上の君主のもとでの民は、悦ぶことなどない。

刑罰の目的は、唯一、犯罪の予防にあり。

民を活かそうとして混乱を招くよりも、民は死んでも安定秩序が保てる方がました。

政治とは?

民に恩恵を施す政治 (儒家の政治)は、間違っている。

・・・功績のない者に恩賞を与え、罪を犯した者を免除することにほかならない。

政治は人の嫌がることをあえて断行せねばならないこともある。

・・・相手の立場を勘案し、相手が欲しないことを理解することは事柄の決断と実行を妨げる。

? ? ? 決断できない優柔不断な主宰者は失格、亡国の原因をつくる。

何故、世の中が良くならないのか。成長しないのか。学習を途中でやめるのか。

絶対多数に立脚する現実的な思考は、質的な現実主義につながる。

「質」とは人間の「資質」「能力」であるが、少数である。

絶対多数は理性的判断をおこなわず、本能的に功利へと、打算へと向かう

善悪の判断とは別にその絶対多数の現実を認め、そこから効果的対応を考えなければならない。それが現実。